

【栗田病院 広報誌】

広報

こだま

2025

Vol.53

広報散歩

栄養課

栗田病院グループトピックス

・BBQ ・カブトムシ採集



今号の「広報散歩」にて紹介している栄養課のスタッフです

栗田病院グループ・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともし、笑顔を増やし続ける
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>



こだま
バックナンバーは
こちらから

広報散歩

「栄養課」

患者様の治療を進めるうえで、食事は非常に大切な役割を担っています。今回は患者様の食事や栄養状態の管理に加え、栄養指導などを通して患者様に寄り添ったサポートを行っている栄養課の皆さんにお話を伺いました。

まずは栄養課のスタッフ構成を教えてください

令和7年8月現在、当院の栄養課には管理栄養士4名とクラーク1名が在籍しています。厨房業務は、別会社に委託しており、管理栄養士5名、調理師6名、調理補助11名という体制で運営しています。

当院の管理栄養士の中には、日本精神科医学会認定栄養士の資格を持つスタッフもいます。精神科医療に特化した知識とスキルを持つことで、より患者様一人ひとりに合った栄養サポートが可能になります。

栄養に関する知識は常に更新されるため、定期的に勉強会を開き、日常業務で感じた気づきや改善点を話し合う習慣があります。互いに切磋琢磨できる環境が、チームの成長につながっています。

栄養課の主な役割について教えてください

大きく分けると、給食の管理、栄養管理、栄養指導の3つです。特に給食は「生きた教材」と考えています。食事を通して、自宅でのようなものをどのくらいの量食べればいいのか、どんな調理方法があるのか、バランスのとおり方などを自然に学んでいただけます。当院は長期入院の患者様も多いため、味や見た目の華やかさに加えて、飽きのこない工夫も大切になっています。旬の食材や行事食を取り入れ、季節を感じられる献立作りは栄養課のこだわりです。



栄養課スタッフのミーティングの様子

入院患者様の栄養管理で心がけていることは？

入院時には食欲不振の方が多く、食べられるようになる

までには時間がかかることもあります。血液データやご家族からの聞き取りをもとに、医師や看護師と連携しながら、少しでも食べやすくなるよう工夫しています。

毎月、病棟看護師と協力して全患者様のSGA（主観的包括的栄養評価）を行い、必要に応じてNST（栄養サポートチーム・褥瘡対策委員会）で食事内容の改善提案を実施しています。実際に喫食量が増え、症状が改善していく姿を見られるのは、大きなやりがいです。

今年度は補助食品についての見直しにも取り組んでいます。退院を見据え、補助食品に頼らず食事で栄養管理ができるよう、入院中の患者様やご家族へ指導を行う場合もあります。退院後も継続して関わるケースもあり、長期的なサポートが可能です。

外来患者様への栄養指導も行っているそうですね

毎月40件前後の個別栄養指導を行っています。2022年からは、対象患者様を抽出して医師から必要性を説明することで、指導件数が大きく増えました。

精神疾患を抱える方は、生活リズムの乱れや偏食から生活習慣病を併発しやすい傾向にあります。服薬による影響等で採血データの細かいモニタリングが必要な場合もあります。最近では生活習慣病だけでなく摂食障害の方への栄養指導を行うケースやMCI（軽度認知障害）の方など、自己管理が難しくご家族と一緒に指導を受けていただくケースもあります。専属の管理栄養士が長く関わることで信頼関係ができ、食事以外の生活習慣や人間関係の悩みを相談されることもあります。

集団での栄養指導や地域向けのセミナーも行っていると聞きました

2023年度から集団栄養指導を立ち上げました。調理や運動など、日常に取り入れやすい実践的なプログラムで、楽しみながら参加できるようにしています。患者様との距離が近つき、個別指導へつながるきっかけになることもありますし、プログラム後に「家で試してみました！」と嬉しそうに報告してくださる方もいます。

地域向けセミナーでは、年齢層や生活環境に合わせた内容で、視覚的な資料やクイズを用いて、わかりやすく飽きない工夫をしています。働く世代には、短時間でできる「コンビニ食での栄養バランスを整える方法」や「疲労回復・

ストレス対策の食事」などが好評です。

他にも特徴的な取り組みがありますか？

MCI（軽度認知障害）の方を対象にしたデイケアでの活動もしています。調理プログラムを行うと、利用者様が生き生きと楽しそうに料理をし、「おいしい！」と喜んで召し上がっています。調理は脳の活性化にもつながっています。栄養士としての役割に加えて、多職種と連携して運営全般にも取り組んでおりますので、患者様との関わり方を学ぶ機会にもなっています。

今年度の新しい試みについて教えてください

『ひらめきグルメフェス』という新メニュー開発イベントを3か月に1回開催しています。当院の管理栄養士と厨房の管理栄養士が協力し、新たなメニューを考案しております。患者様や職員から「次回も楽しみ」という声をいただけるのは嬉しいですね。試作や意見交換を通じて厨房スタッフとの距離も近くなり、日常の連携もスムーズになりました。さらに、食堂を憩いの場として感じていただくために環境改善にも着手しております。ブラックボードで当日の給食に関する味やメニューの特徴、食育情報を発信しています。新たな取り組みをきっかけに会話が生まれ、コミュニケーションの場にもなっています。

また、栄養指導をより多くの患者様に利用していただくために外来待合室の改善にも取り組んでいます。具体的にはレシビ付きリフレッツの設置や、栄養指導の価値をアピールしたPOPの改良などを行っています。食事を見直すことは、未来の自分の体を守ることに繋がります。栄養指導をもっと身近な存在に感じていただけるよう工夫していきたいです。

最後に、今後の目標を教えてください

食事は誰にとっても身近な話題で、相手との距離を縮めるきっかけになります。その特性を生かしてさらに患者様、職員、地域の皆様とのつながりを深めていきたいと考えています。入院患者様にとっては給食が日々の楽しみのもつでもありますので満足度が高い給食提供を心掛けていきたいです。栄養指導では「何を大切にして過ごしていこうするか、今どのようなことに不安や負担を感じているのか」など一人ひとりの価値観に寄り添うことを大切にしていきたいです。これまでの業務に加えて、病棟でのミールラウンドや地域での講演会など、自分たちも楽しみなが新しい挑戦を続け、栄養課の活躍の場を広げていきたいです。

栗田病院グループピックスー職員も家族もつながる職場へー

働き方の多様化が進む中、働く職場に求められるのは「職員一人ひとりの働きがい」を支える仕組みであると考えています。栗田病院グループでは、職員同士はもちろん、職員のご家族も対象とした社内イベントの充実に取り組んでいます。これらのイベントは単なる福利厚生を超え、社内文化の醸成やエンゲージメントの向上、企業ブランディングにも繋がります。

世界的な感染症の流行により、職員同士が仕事以外で顔を合わせる機会は減少傾向にあります。そのため、部門・部署を超えたつながりや世代間の交流が希薄になり、組織の一体感を維持することが喫緊の課題となります。こうした状況において、職員の家族までを対象としたイベントを行うことで、部署や年齢の垣根を超えた関係構築が生まれ、結果として、日常業務では築きにくい信頼や親近感が醸成され、社内コミュニケーションの活性化や企業への帰属意識の向上が期待できます。

今回は、当グループで開催しているイベントの一部である「新入職員歓迎BBQ」と「カブトムシ採集イベント」を紹介させていただきます。

【新入職員歓迎BBQ】 5/25(日)

栗田病院グループ恒例の新入職員歓迎BBQを開催いたしました。今年度は職員家族を含む90名以上が参加しました。普段は他部署で勤務している職員同士の交流や、同じ部署の職員同士でも仕事以外の会話や交流を通してお互いをより理解できる有意義な時間となりました。

新入職員の皆さんには自己紹介とともに「もしも宝くじが当たったら?」「無人島に何か1つ持っていくとしたら?」などのユニークな質問に答えてい



ただきました。それぞれの個性が光る回答で会場も大いに盛り上がりました。

BBQの前には高級お肉や海鮮セットなどの豪華景品をかけた重さ当てゲームを行いました。子供も大人も一致団結して取り組む様子が心が温かくなりました。

自然豊かな場所で、美味しい料理を分かち合いながら仲間と語り合う時間は絆を深める良い機会になりました。

今後このようなイベントを通して職員同士のコミュニケーションを活発にし、笑顔でイキイキと働ける環境づくりに力を注いでいきます。

【カブトムシ採集イベント】 7/19(土)・7/20(日)



採集したカブトムシ

病院の裏側には大きな林があり、毎年夏になると昆虫採集が行われています。実際に森に入って自分たちの手で昆虫を捕まえる機会が少なくなった子供たち、に、昆虫や森などの自然と触れ合う機会を提供しています。本イベントは2日間かけて行われ、1日目には、バナナを発酵させて作るバナナトラップを製作し、それぞれ木に仕掛けます。2日目、朝7時に集合し、しかけの様子を見に行きました。結果は、大成功!想像以上にカブトムシを捕まえることができました。子供たちも大喜びでした。見事捕まえたカブトムシたちは虫かごに移し、最後に飼育方法を説明しました。また来年もたくさんのかぶトムシが捕れることを祈っています。ご参加いただいた職員・ご家族の皆様、ありがとうございました。



カブトムシ採集後の集合写真



採集前日の夕方にトラップを仕掛けている様子

診療案内

外来担当医一覧表

	月	火	水	木	金	土
午 前	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	正司
	安部	高橋	堤	木滝	堀	第2週 鈴木 (変則あり) 第3週 吉川
	堤	早坂	木滝	疋田	翠川	田村
	須能	北嶋	伊藤	伊藤	山口	月田
		正司		黒田	佐々塚	宮木
午 後	栗田	田村	安部	栗田	鈴木	
	安部	高橋	木滝	木滝		
	月田	早坂	須能		北嶋	
	山口	黒田				
	隔週 藤沼					

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■＝内科

〈午前の部〉

〈午後の部〉

*精神科外来は完全予約制になります。

受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00

*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

診察時間 9:00～ / 13:30～

予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

サテライトクリニック

「こころのクリニック水戸」 〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-5-15 TEL.029-231-0150 FAX.029-231-0152

障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター

「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

認知症デイサービス

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

アクセスマップ

